

令和5年度 学校評価

箕面自由学園幼稚園

1 本学園の教育目標

豊かな自然環境を基盤に、体験と実践をとおして、伸び伸びと個性を発揮できる教養高い社会人の育成をめざし、基本的な生活習慣、体力、学習能力、マナー等、バランスのとれた人格の形成を図る。

2 本園の教育目標

自然環境のよさを基盤に、体験と感動を軸にして各学年の発達段階をふまえ、体力・知力・豊かな心を養い、意欲的で自主的な子どもを育てる。

- (1) 自然や文化、人とのふれあいをとおして豊かな感性を培う。
- (2) 一人ひとりの個性や成長をふまえ、体力、知力、気力の醸成を図る。
- (3) 様々な活動に対してすすんで取り組める自主的な姿勢を育む。

3 本年度の重点目標と計画

- (1) 年少・年中・年長の各学年の発達段階に応じて必要な保育活動を実施し、一人ひとりの成長を促すようにする。
- (2) 各学年の保育内容はねらいを明確にして構成し、週活動指導計画をもとに保育を実践するとともに、保育力・指導力向上のため各種の研修をおこなう。
- (3) 環境を活かした外遊び、自然あそびを毎日の保育に取り入れる。行事や保育内容は、子どもの姿を的確に捉え、子ども主体の行事を実施する。
- (4) 農園、果樹園での播種・定植・収穫体験による栽培活動と給食室との連携を図り、子どもたちの給食をそこに結びつけて総合的な食育を推進する。また、個々の食物アレルギーに対応した給食を実施する。
- (5) 異文化体験としての English・Time の活動をより重視し、ネイティブの先生との歌やゲーム、また英語圏の文化行事に親しむことによって、グローバルなコミュニケーション力の基礎を培い多文化を知ることにつながる。
- (6) 未就園児を対象とするプレイルームは地域の子育て支援の柱である。プレイルームのオープンデイとしての「ふれあいサロン」「ようちえんであそぼう」「ぱぱ・ままくらぶ(0歳児)」など、地域の子育ての孤立化を解消する試みを深めていく。
- (7) 就学前教育の一環として年長組を対象に文字あそびや数あそびを行い、その活動をとおして文字やことば、数への興味関心を深めていくようにする。また、本学園の環境を生かした幼稚園と併設小学校との交流会や、授業見学・授業体験を計画的に実施して、年長児が小学校生活へのスムーズな接続を行えるようにする。
- (8) プロの視点、技術に触れることを重視し、年間をとおして芸術鑑賞等の文化的体験で子どもたちの豊かな感性を育むようにする。
- (9) 英語、サッカー、体操、チアリーディング等の既存の課外教室、Wonder 教室を引続き実施する。
- (10) Wonder は、年長組を対象に、英語・科学・書道の各教室を週 3 回実施し、幼児期の旺盛な知的好奇心の発揚を促してきた。不思議なことや未知のものに出会う体験をとおして、この時期に特に必要な非認知能力を養う。今年度は既存の英語教室に加えネイティブの英語教室、子どもたちがのびのびと自己表現を楽しむ絵画造形教室、本園常勤職員が指導するリミックや知育教室も開講し、子どもたちの探求心を正課外でも育める環境を整え、保護者のニーズにも応えられるようにする。
- (11) ホームページ、園だより・学年だより等、広報活動の一層の充実を図り、保護者との信頼関係と協力関係をより
- (12) 親密なものとして築いていくようにする。

4 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 主な保育実践の実際

① 年少組

- ・幼稚園生活が楽しく過ごせるように配慮し、衣服の着脱、手洗い、排せつ、一定の時間内での給食等、基本的な生活習慣の確立をめざして指導した。
- ・運動面では、歩く、走る、跳ぶ、その他の全身運動をとおして、基礎体力、基本的運動能力を培い自らの身体をコントロールする力を育てた。

- ・操作面では、はさみ、のり、絵筆、フェルトペン、粘土等の生活用具や活動手段、また給食時の箸を活用して左右の手指の巧緻性と協応性を培った。
- ・表現の面では、楽しく歌い、曲に合わせてカスタネットやタンバリン等の打楽器を使って遊び、音楽的感性とリズム感を養った。
- ・短い素話、絵本、童話等を、楽しんで見たり聞いたりできる力を養うようにした。
- ・自発的な遊びを活かして、「みたて」遊びや「つもり」遊びを楽しんでできるようにした。
- ・草木やドングリや昆虫など、園内の自然に親しんだ。畑の作物にも関心をもって見たり触れたり収穫までを楽しんだ。
- ・お友だちや集団のなかにいることを楽しみ、一緒に活動できるようにした。

② 年中組

- ・通園のルールやマナーが身につくようになり、安定した幼稚園生活が楽しく送れるように指導した。
- ・獲得した基本的な生活習慣の習熟と、まだ身につけていない生活習慣の確立を図るように促し、自分のことは自分でできる力に自信がもてるようにした。
- ・全身運動をベースに身体コントロール力を培うあそびをおこなった。音楽と組み合わせたリトミックはホールなどを使い表現する喜びを得た。
- ・表現では、クレパス、絵の具等の表現材料に親しみ、基本的な技能に習熟してきた。また、楽しく歌い、打楽器等に親しんだ。メロディオンは感染症予防に取り組みつつ、継続して取り組んだため生活発表会では表現豊かに発表できた。
- ・カプラを用いて発想と思考と協働を繰り返すことで個人とチームの創造力を高めた。
- ・いろいろなジャンルのお話を、楽しんで見たり聞いたりできる力を培うようにした。
- ・ネイティブの先生と英語の歌やゲームをとおしてふれあい、異文化に親しめるようにした。
- ・草花や木の実で遊んだり、玉ねぎなどを畑で栽培したり、作物の成長に関心をもち収穫の喜びを体験した。
- ・保育室前では多くの生き物を飼育・観察し、命と成長について考える環境作りをおこなった。特に園庭で見つけたダンゴムシやツマグロヒョウモンやバッタ、セミには深く興味関心を持ち、身体表現活動や、絵画表現、製作活動などに展開させた。子どもたちの姿から様々な分野の保育へと広げた。
- ・1クラスの人数が多かったため、一人一人の子どもの様子を保育者全員で細やかに見るチーム保育をおこなった。

③ 年長組

- ・いろいろな友だちと関わり、見通しをもって幼稚園生活を送れるようにした。
- ・基本的な生活習慣を中心に、大人の援助がなくてもよい身辺自立の確立をめざした。
- ・子ども自身が自分の思いを言葉にし、他者に伝えられるよう、見守りと促しをおこなった。
- ・夢中になって取り組める対象を見つけ、意欲と自信の獲得を促した。
- ・学年活動にSDGs学習を取り入れ、地域、世界、地球の中の「私」を意識した。
- ・運動面では、全身運動とともに【幼児期に身につけたい36の動き】を意識し、ボール等を使ったルールのある体育あそびや、鉄棒や跳び箱、縄等の教材の特性に応じた運動に親しみ、しなやかな身体能力を培うようにした。特に縄跳びでは目標を設定し、それに向かって主体的に取り組んだ。
- ・表現では、生活や遊びの中から絵の題材を選び、クレパスや絵の具等で楽しく描けるようにした。
- ・友だちと一緒にいろいろな「ごっこ」遊びを楽しみ、約束やルールをふまえて遊べる力を培うようにした。
- ・クラスの友だちと合唱やダンスに取り組んだ。いろいろな楽器に親しみ、舞台発表では和太鼓、マーチング合奏、洋合奏にも取り組んだ。
- ・ことば遊びや文字遊びをとおして、書き言葉に楽しんで関心をもてるようにしたり、ネイティブの先生と英語の歌やゲームをとおしてふれあい、簡単な英語が話せる力を培うようにした。様々な国の友だちの言語や文化を学び、世界を感じる取り組みをおこなった。
- ・グループやクラスの遊びや活動に楽しんで取り組み、自ら積極的に働きかけるようにした。
- ・運動会では子どもたちが司会進行をしたり、劇あそびでは子どもが台本を作成するなど主体的にかかわり、考える力や話す、伝える力を身につけた。

- ④ コロナ禍の中、畑での栽培活動をとおして、作物の成長や生命について体感できるように取り組んだ。

- ⑤ ネイティブによるイングリッシュ・タイムを年少から実施し、ゲームや歌など英語圏文化を体験する機会を増やして、国際理解の環境をつくるようにした。

- ⑥ 子育て支援への取り組みとしての「預かり保育」は、日常的な異年齢集団とグループの特性を活かし、立体折り紙や毛糸の指編み、劇あそび、外遊び等、季節や時期に応じて上の学年が下の学年を援助する場をつくり出し、手指の巧緻性のみならず相互に関わり合う力、協力し合う力を養うことができた。稲の脱穀や朝顔栽培などの通常保育内では難しいものも取り入れている。また、プレイルームは週2回の2クラスと週1回の1クラスで運営し、講師を招聘してのバリエーションのある保育として安定した活動ができた。さらに、豊中市私立幼稚園教育振興・子育て支援事業としての「ふれあいサロン」は、リトミック、親子リズム、親子体操など、毎回多彩な活動を実施して地域の子育てをいろいろな面から支援した。また、今年度から始めた0歳児向けのベビーマッサージは人気のイベントとなっている。
- ⑦ ホームページやInstagram、毎月の「園だより」を中心に、幼稚園の様子や子どもたちの活動について日常的に広報活動を行い、園と保護者との結びつきを深める上から効果的な発信を行うことができた。
- ⑧ ICT機器を導入しドキュメンテーションに取り組んだ。また、保育の様子を動画でも配信し、保護者と共有する取り組みを始めた。
- ⑨ 園の施設、設備、園バス等の安全管理と安全確保

(2) 園の施設、設備、園バス等の安全管理と安全確保

- ① 園庭、中庭、なかよし広場、飼育小屋、遊具等の施設については、月一回の安全点検・安全確認を中心に日々の保育活動前のチェックも行い、少しでも危険や問題があれば、速やかに対処できる体制を整えてきた。
- ② 通園バスの安全点検・確認は毎日の運行前に行い、定期的な車両点検を実施して対処した。また、1コース終了ごとに座席や手すりの消毒を行っている。
- ③ 火事、地震、不審者、侵入者等の災害の発生に際して、安全を確保するために定期的に避難訓練を実施し、通報、避難、安全確保等の訓練を行った。
- ④ 地震等の自然災害の発生に対応してバスを利用する園児の安全を確保するため、通園バスの各コースに数か所の非常駐車場所を選定している。置き去り防止の点検についても続けている。
- ⑤ 様々な感染症拡大、感染防止策の上から、保育室をはじめ園児が使用するすべての施設、教具、バス車内をその利用前後に消毒して園児をウイルス感染から守るよう努力した。

(3) 保育力・指導力の向上と教員研修

- ① 目の前の子どもたちの理解を深めるために、学年やクラスを問わず全教職員で情報の共有化を図り、会議等においても共通理解に努めた。
- ② 教員の指導力向上のための外部研修にも参加した。また、長期間受講可能なオンライン研修なども取り入れた。
- ③ キンダーカウンセリングの事業として、年間3回教員研修を学校臨床心理士の指導の下実施した。

(4) 子育て支援の実績

- ① あずかり保育
通常保育期間においては、週6日、午前7時45分から保育開始まで、保育後から午後6時45分（土曜は午前7時45分から18時45分）まで実施し、長期休業期間についても期間を設けて、午前7時45分から午後6時45分まで実施した。
- ② 未就園児と保護者への支援
2歳児という特性に応じたプレイルームの各コースの保育内容は、実践的に吟味をしながら実施してきた。親子交流の持ち方や幼稚園児との交流の仕方は、工夫して行った。
- ③ ふれあいサロンの充実
地域の未就園児親子が子育ての場を共有することができる機会としての「ふれあいサロン」は、「豊中市私立幼稚園教育振興・子育て支援事業」でもあり、時間や人数を制限して、参加者を得て実施できた。
- ④ 子育て相談室
子育てについての不安や悩みを一人でかかえる保護者の存在が依然として少なくなく、子育てに関するサポートの必要性を感じさせる。自己開発研究所（心のほっとルーム）と連携し、相談室で対応を行い支援してきた。

5 学校評価の目標や計画についての総合的な評価結果（学校自己評価のまとめ）

- (1) 職員会議において、現在の問題点、改善策を把握し、保育内容、学年間の共通理解と調整を図った。クラス内、学年内、園全体の3段階に分けたチームでの情報共有と相談によって「必要な保育」「目指すもの」を明確にしながら保育を進めた。必要に応じて適宜、主任会や学年会をもち、子どもたちのよりよい成長に資する保育の在り方を検討した。
- (2) 主体性保育を実践し、子どもの豊かな活動を守るため、行事やカリキュラムの見直しをおこなった。子どもの発達に合わせた保育室整備、1日の活動に外遊びを取り入れるなど、立地環境に合わせた保育を始めた。
- (3) 0歳児対象のイベントを開始した。これによって全年齢の子育て支援の場を作ることができた。「あずかり保育」「ぱぱ・ままくらぶ」「ふれあいサロン」「ようちえんであそぼう」を通して学園の魅力を伝える場となっている。
- (4) 園庭の整備や新たに第2砂場を作ったり、また安全面においては園の周りを囲む柵を高くしたり、門の鍵を新しいものに変えるなどの改装をおこない、保育環境を向上させた。

6 今後取り組むべき課題

- (1) 国の方針と私学幼稚園に求められているものを把握し、保育内容や行事の組み立てをおこなう。
- (2) 主体性保育をすすめるためのカリキュラムの見直しをおこなう。
- (3) クラス相互の保育参観を実施し、担任の保育力の向上及び学年のチーム力の向上を図る。
- (4) 地域の子どもと子育て支援にかかわるプレイルームやふれあいサロンの年間の企画運営をより魅力的なものにする。
- (5) 子どもと保育者の安全健康を保つため、無理のないプログラムの作成をおこなう。
- (6) 置き去り防止や安全面の意識を高め、対策を徹底する。

【令和5年度学校評価アンケート調査結果】

(1) お子さまは幼稚園に楽しく通っていましたか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
83.6%	14.4%	2%	0%

(2) 幼稚園職員は子ども一人ひとりを理解し、子どもの発達に応じた保育をしていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
63.7%	29.5%	6.2%	0.6%

(3) 幼稚園や保育者は、子どもの様子をわかりやすく伝えていきますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
56.6%	31.7%	9.7%	2.0%

(4) 幼稚園は、子どもたち一人ひとりの個性を大切に、意欲や自信を持たせていきますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
60.5%	28.6%	10.2%	0.7%

(5) 幼稚園は、あいさつなど、基本的な生活習慣を身に付けさせていきますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
60.3%	31.5%	4.1%	4.1%

(6) 幼稚園は、話を聞く態度を育てることに努めていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
61.6%	29.5%	7.5%	1.4%

(7) 幼稚園は、集団生活に必要な決まりや約束の大切さを指導していますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
71.9%	21.9%	5.5%	0.7%

(8) 幼稚園は、自然と触れ合う経験を大切にされた保育をしていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
77.4%	17.8%	3.4%	1.4%

(9) 幼稚園は、「食育」を通して子どもたちの食に対する興味・関心を深めるように努めていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
80.1%	15.1%	2.7%	2.1%

(10) 幼稚園は、避難訓練や安全指導などを通して子どもが安全に対する意識や習慣が身に付くようにしていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
74.7%	22.6%	2.5%	0.2%

(11) 幼稚園の行事は工夫されていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
54.1%	32.9%	8.2%	4.8%

(12) 幼稚園は芸術文化活動や鑑賞をおこなっていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
50.3%	26.9%	18.6%	4.2%

(13) 学級懇談会、個人懇談の内容は有意義ですか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
57.2%	30.3%	10.3%	2.2%

(14) 幼稚園は、外部侵入者対策をしていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
49.3%	30.1%	18.5%	2.1%

(15) 幼稚園は、未就園児登園・子育て相談・園庭開放・預かり保育など子育て支援を行っていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
75.3%	21.9%	2.0%	0.8%

(16) 幼稚園は、保幼小中との連携や保護者・地域の人々との交流など、いろいろな人との触れ合いを大切にしていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
43.2%	41.1%	12.3%	3.4%

(17) 学園内の施設・環境を生かした保育・教育が実践されていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
61.6%	28.1%	8.2%	2.1%

(18) 学園内に発達や教育相談の機関があることが周知されていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
50.3%	27.2%	17.7%	4.8%

(19) 幼稚園は、コドモンやホームページ、Instagramを通して、幼稚園の活動を伝えていますか。

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
62.3%	31.5%	4.1%	2.1%

【学校関係者の評価のまとめ】

○登園バスの安全性確保につきましては、本園作成の「園バス添乗について」令和4年10月12日内閣官房・内閣府・文部科学省・厚生労働省作成「みんなの点呼で幼い生命を守る。」大阪府私立幼稚園連盟「通園バス運行の指標」等をもとにバス運転手・添乗員・教職員全員で園児の置き去り、降ろし忘れが絶対にならないように取り組んでいます。また園児自身が身の守り方を学ぶ「クラクション研修」を5月6月と2回行いました。今後も引き続き、安全なバス運行に努めてまいります。

○池田エリアへの園バス運行につきましては、「園バス運行の指標」に教育的・健康面への配慮から園児の乗車時間40分以内を基準とすることとあります。現行では箕面市桜ヶ丘・吹田市藤白台方面への運行が40分以内となり、池田市への運行は基準から考えると困難かと思われます。ホームページの運行ルートが分かりにくいというご意見を踏まえ、もっとわかりやすいものに改善してまいります。

○預かり保育の充実と子育て支援イベントへのご意見につきまして、貴重なご意見をいただきありがとうございます。本園はフルタイムで働いておられる家庭のお子様も午前7時45分から午後6時45分まで預かることのできる体制をとっております。豊中市では、共働き世帯が増加しており待機児童も発生しています。今季、夏のあずかり保育では給食提供のトライアル、おやつ持参、希望される家庭には午睡タイムなどに取組み、預かり保育の充実をめざしてまいります。また、0歳児への子育て支援につきましては、引き続きメニューを考え、ご意見をいただいた「ベビーマッサージ」など現在行っている内容についても検討してまいります。

○外部侵入者対策につきましては、昨年度に園のフェンス改修を行いより安全性を高めました。オートロックにつきましては、いただいたご意見のとおり、卒園保護者が課外教室などでお迎えに来られるときはインターフォンで対応してまいります。今後も安全安心な幼稚園生活が送れるように保護者のご協力を得ながら、取り組んでまいります。

○学校評価アンケートで「あまり思わない」と否定的回答の割合が高かった項目につきまして、まず、「幼稚園は芸術文化活動や鑑賞をおこなっていますか。」ですが、今年度、大阪音楽大学と連携し、学期に1回演奏会を行います。1学期は「弦楽四重奏」2学期は「リコーダー奏」3学期は「マリンバ演奏」を計画しております。11月には、人形劇団にもお越しいただき、文化芸術に触れることができる幼児期になるよう努めてまいります。

次に「あまり思わない」の回答が高かった「学園内に発達や教育相談の期間があることが周知されていますか」の項目につきましては、「心のほっとルーム ご案内」の全園児配布や夏の自由保育の期間「幼稚園保護者相談会」を実施いたします。学園内にあり、たいへん貴重な機関であることから、機会をとらえて（保護者懇談会・入園説明会等）周知を行ってまいります。